

情報発信等戦略の期間

令和4年度～令和7年度まで

情報発信等戦略

① 情報発信の内容

(1) モニターツアー参加者による情報発信

県外（主に首都圏）の旅行者及び旅行エージェントを対象に、本市の魅力を体験できるモニターツアーを実施し、参加者に本市の観光コンテンツをSNS等で発信してもらうことで情報を拡散し、観光誘客と交流人口拡大を図る。

(2) 特撮文化を活用した魅力発信

本市は、「特撮の神様」と称される「円谷英二」監督の出身地であり、平成25年度に「株式会社円谷プロダクション」協力のもと、「M78星雲 光の国」と姉妹都市提携を締結し、ウルトラマンを活用しての観光PR等を実施している。今後はさらに、「円谷英二」監督が残した「特撮文化」を継承するためのPR等も図りながら特撮文化を核とした観光誘客及び関係人口の拡大を図る。

② 須賀川市の情報発信体制

【須賀川市役所】

企画政策部

シティプロモーション、公式ホームページ、公式LINEアカウント、公式Youtubeチャンネル、広報紙活用等

文化交流部

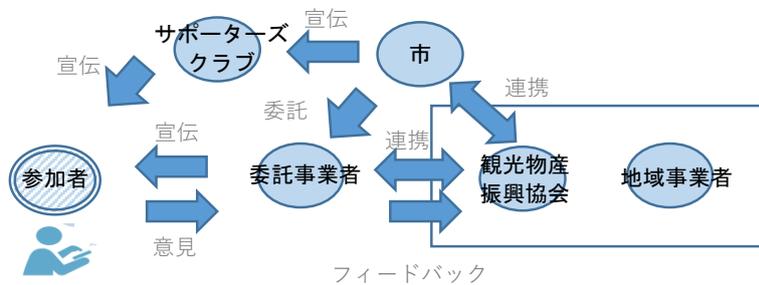
特設ホームページ、メルマガ活用等

【須賀川市観光物産振興協会・地域事業者】

市の観光、イベント情報をホームページとSNSで発信

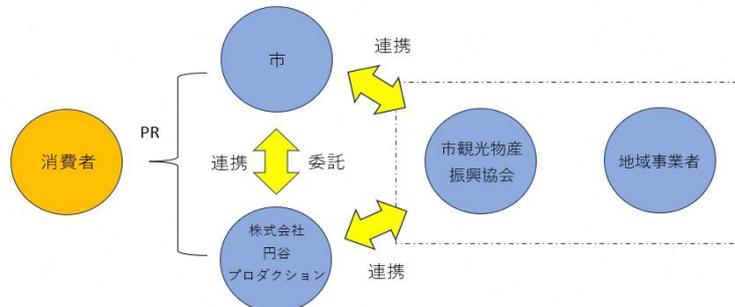
【須賀川サポーターズクラブ】

サポーター会員（約1,200人）の協力による情報発信



【株式会社円谷プロダクション】

各種イベントや公式サブスクリプションサイト等で発信



③ 情報発信等の戦略目標

(1) モニターツアー参加者による情報発信

ア SNS等を活用した情報発信

市は、主導でPR活動を行いつつ、メディアやSNS利用者に取り上げてもらえるような話題提供の仕方を工夫し、インターネット利用頻度が高い若年層やインフルエンサーにSNSやブログ等で情報発信をしてもらい、本市の情報を拡散することで、より多くの人に本市の魅力を伝えられるようにする。

イ ターゲットを意識した情報発信

様々な層をターゲットにツアーを実施することで、参加者の目線で各層へ本市の情報を拡散してもらおう。また、参加者アンケートにより、どの層にどんなメニューが刺さるか分析する。

ウ 旅行商品の造成へつなげる

ターゲットに応じたツアーメニューを旅行エージェントへアピールし、最終的には、旅行会社に本市を組み込んだツアーを多く造成してもらえるように促し、観光誘客を図る。

(2) 特撮文化を活用した魅力発信

ALPS処理水問題で落ち込むことが想定される観光需要については、早期のマイナスイメージ払拭が急務であることから、令和6~7年度にかけて本市のさらなる認知度向上やイメージアップ、来訪者増加のための施策を強化する。

ア 「ウルトラマンのまち すかがわ」の認知度向上

「ウルトラマンのまち すかがわ」をより多くの方に知ってもらうため、HPのリニューアル及び新規PV制作を行い、インターネットを活用した情報発信を継続的に実施することで、県外・国外に散らばる特撮・ウルトラマンファンを中心にPRを行い、本市の認知度向上を図る。

イ 「空想の力を育むまち」としてのイメージアップ

「M78星雲 光の国」との姉妹都市提携から10年の節目を迎えた令和5年度に、株式会社円谷プロダクションと新たに締結した「まちづくり提携協定」に基づき、「空想の力を育むまち」の推進に関する取組の情報発信を行うことで、本市の更なるイメージアップを図る。

ウ 県外・国外からの来訪者・関係人口の創出

本市独自の風土である、特撮文化の推進を通して、特撮の歴史や技術の継承などを体感できるイベント等を実施し、本市や特撮文化について、また来たい、もっと知りたいと思われるようなリピーターの増加を図る。

また、「光の町の住民票」や「ウルトラマンへの手紙」といった、特撮文化をきっかけに本市とのつながりを感じられる取組の裾野を県外・国外へと広げることで、本市のファンとなる関係人口の更なる拡大を図る。

④ 全体工程表



207 須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画 令和4年度～令和7年度

令和6年1月10日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費(注3)					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)	備考 その他(注5)
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
1	A - 1	体験型交流推進事業	須賀川市	<0>	(5,330) 0	(5,325) 0	(0) 0	(0) 0	(10,655) 0	R4 ~ R5	
2	A - 2	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	須賀川市	<0>	<5,330>	<5,325>	<0>	<0>	<10,655>		
3	-			<0>	<0>	<0>	20,000	13,520	(0) 33,520	R6 ~ R7	
4	-			<0>	<0>	<0>	<20,000>	<13,520>	<33,520>		
5	-			<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	(0) 0	~	
			合 計	<0>	(5,330) 0	(5,325) 0	(0) 20,000	(0) 13,520	(10,655) 33,520		
				<0>	<5,330>	<5,325>	<20,000>	<13,520>	<44,175>		

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、上段()書きは前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 「全体事業期間」は、令和4年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和4年度以降も含めて記載する。

(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

また、福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

207 須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画 令和6年度

令和6年1月10日時点

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考 (注4)
					交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c) = a × b	
1	A - 1	体験型交流推進事業	須賀川市	1/2	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
2	A - 2	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	須賀川市	1/2	(0) 20,000 <20,000>	(0) 10,000 <10,000>	
3	-				<0>	(0) 0 <0>	
4	-				<0>	(0) 0 <0>	
5	-				<0>	(0) 0 <0>	
				合計額	(0) 20,000 <20,000>	(0) 10,000 <10,000>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 上段 () 書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < > 書きについては、自動計算される。

(注4) 福島県については、実施要綱第4 6 ⑤の一の市町村名の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式 1-5)

須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 6 年 1 月 10 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	事業番号	A-2
事業実施主体	須賀川市	総交付対象事業費			20,000 千円
既配分額		0 千円	当該年度交付対象事業費		20,000 千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業 小計 20,000 千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 15,000 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 5,000 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用 小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
本市の観光入込客数 2,000,000 人 (平成 22 年度 1,276,247 人から 56%向上)					
事業概要					
事業実施主体	須賀川市				
主な企画内容	「すかがわ市 M78 光の町」HP 等を活用した PR および関連イベントの実施による県外からの集客				
主な事業の実施場所	須賀川市				
事業の実施期間	R6~R7				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
東日本大震災に伴う原発事故により発生した風評被害は、観光需要の落ち込みなど、本市にも大きな影響を与えたものの、この 10 年「ウルトラマン」や「特撮文化」を生かした本市ならではの取組を継続してきた結果、本市の認知度の向上及びイメージアップは着実に進み、観光需要も回復してきている。					
<課題>					
本市の認知度向上及びイメージアップが着実に進んできている中、ALPS 処理水の海洋放出による新たな風評被害の発生など負のイメージを払拭するためにも、本市の特長である「特撮文化」等を生かした更なるイメージアップにつながる取組を継続することで、本市の認知度向上と合わせ、国内外問わず本市のファンを増やすことが重要である。					
【課題に対するこれまでの取組と成果】					
東日本大震災後、原発事故の風評被害により下落した本市のイメージアップ対策として、株式会社円谷プロダクション協力のもと、平成 25 年に「M78 星雲 光の国」と姉妹都市提携を締結した。これに伴い、市内におけるウルトラマンモニュメントの整備やウルトラヒーローショー等のイベントを実施することで、全国的に人気の高い「ウルトラマン」を活用しての本市への観光誘客を推進することができ、着実に認知度向上及び来訪客の増加は進んだ。					

【今年度事業における具体的な取組内容】

令和4年度～5年度にかけて本交付金を活用して実施した「体験型交流推進事業（A-1）」におけるモニターツアーでは、「ウルトラマン」や「特撮文化」をテーマにファミリー層や特撮ファン向けのツアーを実施し、ツアーに参加したインフルエンサーによる情報発信など、SNSを活用して本市のPRを図ることができた。

また、上記取組の結果、本市に対する県外からの旅行商品の企画件数や参加人数も少しずつであるが増加傾向にあり、これまでの魅力発信の効果が県外へ確実に広まってきているものと思料する。

そこで、令和6年度からは、特撮文化を核とした情報発信をより強化し、本市の認知度向上と更なるイメージアップを図るため、新たに以下の事業を実施する。

【「すかがわ市 M78 光の町」HPのリニューアル】

- ・実施期間 令和6年4月～令和7年3月
- ・実施体制 須賀川市
株式会社円谷プロダクション（委託）
- ・概算費用 サイト内容更新業務委託費用 5,000千円
- ・取組概要

平成25年、「M78 星雲 光の国」との姉妹都市提携を締結した際、「すかがわ市 M78 光の町」HPを立ち上げた。これはウルトラマンと連携した本市の観光PR用のHPであり、市内の施設等や特産品を紹介するだけではなく、ウルトラマンと連動した定期的なイベントも実施してきた。

また、直接本市に訪れてもらうための取組として、仮想都市「すかがわ市 M78 光の町」への住民登録及び「光の町の住民票」を発行できる仕組みを作ったところであり、本リニューアルでは、サイトデザインの刷新や更なるオリジナルコンテンツの作成を予定している。

【「すかがわ空想フェスティバル2024（仮称）」の実施】

- ・実施期間 令和6年11月23日（土）、24日（日）（予定）
- ・実施体制 須賀川市
株式会社円谷プロダクション（一部委託）
- ・概算費用 実施業務委託費用 16,720千円
- ・取組概要

姉妹都市提携の立ち上げから10年の節目を迎えた令和5年に、本市は株式会社円谷プロダクションとまちづくり提携協定を締結し、新たなまちづくり像として「空想の力を育むまち」を掲げた。本イベントはこの「空想の力」をテーマとしたイベントであり、県外、国外の方に幅広く参加してもらえる内容とする。

「すかがわ空想フェス」実施内容（案）

- ①「空想」をテーマとしたセミナーの実施
- ②ウルトラヒーローショーの実施
- ③ウルトラマンシリーズの上映会
- ④ウルトラヒーローとの写真撮影
- ⑤空想メッセージボードの設置（自由にメッセージを記入してもらう）
- ⑥空想コンテストの実施（オリジナル怪獣を募集しコンテストを開催）

【今年度事業における目標】

【アウトプット】

「すかがわ市 M78 光の町」HPについて、メルマガやイベント等によりリニューアルを周知する。
「すかがわ空想フェス」の実施についてHPやチラシ等により周知する。

【アウトカム】

- ①HPリニューアル後の閲覧者数の増加【R4年度 272,797人 R6年度目標 300,000人】
- ②すかがわ市 M78 光の町住民数の増加【R5.12.1現在 25,401人 R6年度目標 27,500人】
- ③すかがわ空想フェスの参加者数【目標 5,000人】

【今年度、事業の実施により得られる効果】

「すかがわ市 M78 光の町」HPは、市公式HPとは別に、ウルトラマンファン等の関心を引くための仕様とすることで、本市だからこそ体験できるオリジナルコンテンツ等のPRを行う。また、「すかがわ空想フェス」では、実際に本市を訪れ、「特撮文化」等の魅力に触れてもらうことで、国内外問わず本市のファンを増やし、本市の更なるイメージアップを図ることで風評払拭につなげる。

【次年度以降の取組】

- ・オリジナルPVを活用した、県外・国外向けの情報発信。
- ・ウルトラマンシリーズを文化として捉えた、上映会及びゲストトークの実施。

【具体的な対策】

情報発信の第2弾として、「ウルトラマン」及び「特撮文化」を軸とした本市の魅力を発信するためのPV制作や「特撮文化」を推進する本市の取り組みを発信するための上映会・ゲストトークを実施する。制作したPVや上映会・ゲストトークの様子は、リニューアル後のHPや株式会社円谷プロダクションが実施するイベント、また、サブスクリプション等で効果的に活用することで、県外、国外の方にPRを行い、本市を訪れたい、本市とつながりたい、仕組みづくりを行う。